

1. 基本情報

留学先大学	シラパコーン大学
協定留学プログラム	2カ月
留学期間	2024年2月～2023年3月
名前	I・Mさん
学部・学科・専攻	芸術学部 美術学科 洋画専攻
留学した時の学年	3年次

2. 渡航について

利用航空会社	日本航空
航空券手配方法	公式HP
大学の最寄り空港名	スワンナプーム国際空港
現地到着時刻	16時20分
キャンパスへの移動手段	電車(ARL)、タクシー
移動所要時間	約2時間
空港からキャンパスへの移動の際の注意点などありましたら、以下へ明記お願いします。	
空港から自分でタクシーを捕まえると、ナコンパトムまでは行ってくれないことが多いので注意が必要。	
渡航前に済ませておくべき準備などありましたら、以下へ明記お願いします。	

3. 住居について

住居タイプ	大学寮
到着後すぐに居住入居できましたか？	はい
部屋のタイプ	1人部屋
住居を探した方法	大学からの案内
住居申し込み方法	担当の方に伝える
1カ月の宿舍費(現地通貨)	5000 バーツ
注意点やアドバイスがあれば、以下へ明記お願いします。	

4. 留学先オリエンテーションについて

オリエンテーション有無	なし(一番最初の授業で説明はあり)
日程	
参加必須ですか？	

5. 授業について

履修登録はいつどのような形で行いましたか？	なし(与えられる授業と、受けたい授業を先生に伝える)
履修科目・単位数は？	1科目 6単位
ボリューム的にどうでしたか？	ちょうどよかった

6. 履修科目詳細

履修学科名	ประติมากรรมและภาพพิมพ์, ภาควิชาจิตรกรรม (絵画、彫刻、グラフィックアート)
①履修科目コース名	painting II
授業時間	週により異なる
授業回数(週)	週1回
単位数	6
授業内容・課題・試験について	3週間ごとに課題が変わり、1週目に先生と面談しながら制作の方向を決める、2週目に進捗と確認、3週目に講評というように進む。その日以外の空いてる時間で制作を自由に進める。課題は大体前日の夜までに発表される。
②履修科目コース名	
授業時間	
授業回数(週)	
単位数	
授業内容・課題・試験について	
③履修科目コース名	
授業時間	
授業回数(週)	
単位数	
授業内容・課題・試験について	

7. 現地情報

(1)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか？ 【回答例】 キャンパス内では大学の Wi-Fi を問題なく使用できました。キャンパス外では地方に行かない限り使用できました。
自分の学生データを登録してもらおうと、Wi-Fi などが使えるようになる。(私の場合は1か月かかった) sim は日本で用意したものが使えなくなったため、コンビニで調達した。データの的にも値段的にも現地の物の方が使いやすかったです。
(2)現地での支払い方法はどのようにしていましたか？ 【回答例】 主にクレジットカード払い 大きいスーパーやデパート以外では現金支払い。
(3)現地で現金での支払いが必要な時はありましたか？ 【回答例】 はい、友達との食事代支払いの時に使用しました。 はい。屋台でご飯を買う時や、コンビニで金額の少ない買い物の際は必要
(4)現地での資金調達はどのように行いましたか？ 【回答例】 ①クレジットカードを使用して ATM で現金を調達しました。 ②日本から現金を持って行ったので必要ありませんでした。 日本から持って行った現金を現地で両替

(5)日本から現地通貨の現金を持って行かれましたか？ はいの場合、いくら位持っていかれましたか？ 【回答例】 はい、£1,000位
いいえ
(6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 【回答例】 日本の調味料
とくになし
8. 留学体験記
(1)留学しようと決めた理由は？ 元々タイに留学したいと大学入学前から考えており、自分の制作にタイを取り入れはじめたため、現地で制作する機会が欲しいと考えたため。
(2)留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備はありましたか？ タイ語、英語の勉強はどれだけしても足りないと感じた。
(3)この協定大学を選んだ理由は？ タイの中にファインアート系の学部のある協定校が少なかったため、そのなかでも英語よりもタイ語がメインの大学を選びました。
(4)大学・学生の雰囲気はどんな感じでしたか？ 良くも悪くも自由で明るくマイペンライ(大丈夫)精神なので、日本の大学のようなイメージをしていくと難しいです。学生や大学学内の人たちは皆優しく積極的に話しかけて交流してくれます。バンコクまで行くと英語がわかる人が多いですが、キャンパスのあるナコンパトムでは英語のわからない人が多いです。
(5)交友関係についてお聞かせください。 いつでもアトリエにいくと誰かがいるので、なにかあると話すことができ友達もできやすいです。また、日本の文化やアニメが好きの人が多く、日本語を使おうと話してくれることが多かったです。現地で出来た友達と一緒に制作することもありました。
(6)困ったこと、大変だったことがあればお聞かせください。 授業のしくみなどが日本の大学と大きく異なることが多く、聞かないとわからないことが多くて最初1, 2 週間は難しかったです。大学の外に出るのに徒歩で 15 分くらいかかるため、途中扁桃炎になり熱をだした際に買い物にいけなくて大変でした。
(7)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。 自由に制作していいという課題もあれば、大学の外の人たちとコラボレーションしてなにか制作をしてくださいという課題もありました。アトリエの外で体験したり制作するということが多かったような気がします。絵画だけでなく、イラストや立体、歌など自由につくれる環境でした。一週間で 80 号三枚描く人もいれば、3 週間かけて一枚をじっくりかく人もいました。
(8)現地での学習内容・勉強についてお聞かせください。
(9)海外生活の中で気がついたことなどあればお聞かせください。 わからなくても現地の言葉ではなして、相手が話したことをわからないというのではなくて最期まで聞く事が大切だと感じました。また、他の学生の制作を見ると日本で制作しているときとの雰囲気の違いで、自分の制作にまで影響ができました。